

単包装の消毒剤含浸綿棒シリーズ

外用殺菌消毒剤

滅菌製剤

ザルコニン®0.025%綿棒12

ZALKONIN® 0.025% COTTON SWAB 12

ザルコニン®0.025%綿棒16

ZALKONIN® 0.025% COTTON SWAB 16

0.025%ベンザルコニウム塩化物液含浸綿棒

滅菌済・単包装の消毒剤含浸綿棒製剤なので、

1. 調製の手間や鑷子等の準備が不要で、業務の省力化が可能です。
2. 微生物汚染の心配がなく、衛生的です。
3. 開封後直ちに使用でき、在宅医療等にも適しています。
4. フィルムの開封や薬液の塗布が容易で、使用性に優れています。



〔注意〕

●経口投与しないこと。

〔要約〕

詳細は、D.I. 欄又は製品添付文書をご参照ください。

ザルコニン[®]0.025%綿棒12

ZALKONIN[®] 0.025% COTTON SWAB 12

ザルコニン[®]0.025%綿棒16

ZALKONIN[®] 0.025% COTTON SWAB 16

ベンザルコニウム塩化物は、グラム陽性菌、グラム陰性菌等に対し、広範囲に抗微生物スペクトルを有する第四級アンモニウム塩系の殺菌消毒剤で、その0.025 w/v%液を含浸させた綿棒は、院内において粘膜や創傷部位の消毒等に広く用いられています。

しかし、院内で調製する際には、消毒剤・滅菌綿球・滅菌綿棒の準備、万能壺・鑷子の洗浄・滅菌等の手間や経費がかかり、また、調製後は微生物汚染に十分に注意し、使用期限を管理する必要があります。

ザルコニン0.025%綿棒12・16は、0.025 w/v%ベンザルコニウム塩化物液を、それぞれ直径（脱脂綿部）12 mm又は16 mmの綿棒に含浸させ、蒸気滅菌した単包装の綿棒製剤なので、調製の手間を省き、簡単かつ衛生的に使用できます。

特性

1

業務の省力化

消毒剤・滅菌綿球・滅菌綿棒の準備、万能壺・鑷子の洗浄・滅菌等が不要なので、業務の省力化が可能です。

2

滅菌済

開封前の無菌を保証した滅菌製剤なので、微生物汚染による感染の心配がありません。

3

衛生的

単包装の使い切りなので、消毒剤や綿球・綿棒の継ぎ足し等の不衛生な使用を防止し、衛生的に使用することができます。また、調製後の使用期限等の管理も不要です。

4

簡単

開封後直ちに使用することができます。また、携帯にも便利で、いつでも、どこでも手軽に使用でき、往診、訪問看護や在宅医療にも適しています。

5

経済的

使い残しがなく、消毒剤や綿球・綿棒の無駄な消費をなくすることができます。

ザルコニン0.025%綿棒12・16には、様々な工夫が施されています……

1

持手タブ

フィルムの開封を容易にするため、開封口には持手タブを設けています。

2

太い軸

適度な柔軟性のある太軸の綿棒を用いています。

3

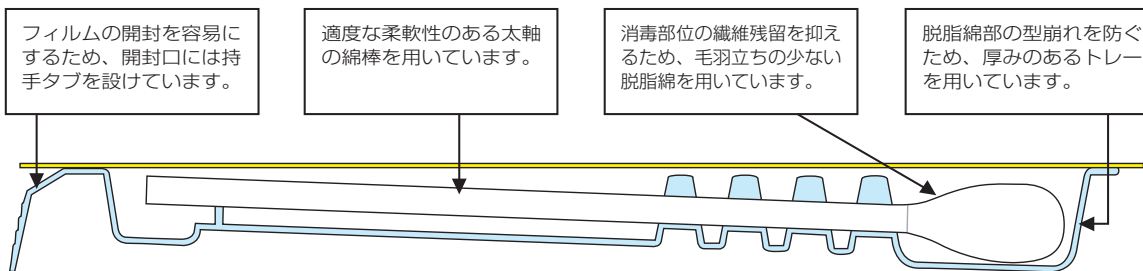
毛羽立ちの少ない脱脂綿

消毒部位の繊維残留を抑えるため、毛羽立ちの少ない脱脂綿を用いています。

4

厚みのあるトレー

脱脂綿部の型崩れを防ぐため、厚みのあるトレーを用いています。



開封の方法

● 1本ずつ開封する場合



トレー1本をミシン目より切りはなします。タブを持ち、フィルムをはぎ取ります。

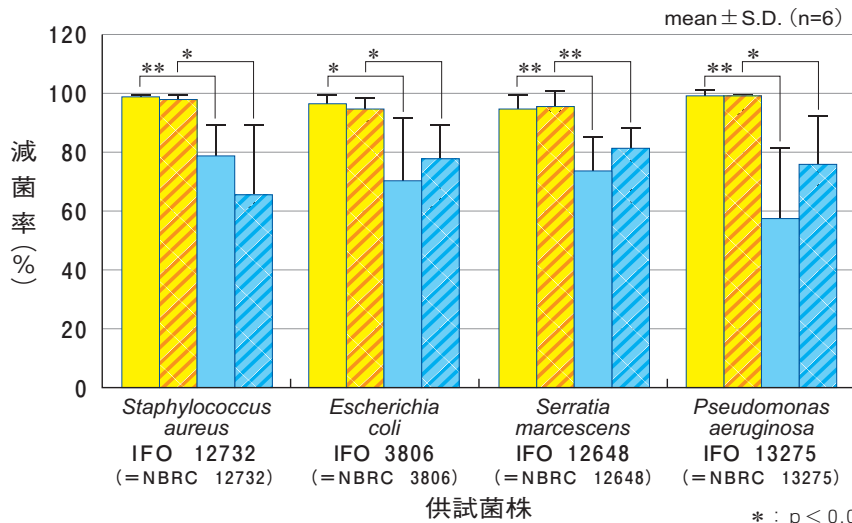
● 2本まとめて開封する場合



トレー2本分のタブを持ち、フィルムをまとめてはぎ取ります。

皮膚消毒効果 (in vivo 試験)

各種細菌で汚染させた皮膚に対するザルコニン0.025%綿棒12・16の消毒効果について試験した結果、滅菌精製水含浸綿棒による平均減菌率は50～80%程度であったのに対し、ザルコニン0.025%綿棒12・16はいずれの細菌に対しても、90%以上の平均減菌率を示し、優れた消毒効果が確認されました¹⁾。



〈方法〉

両前腕内側部を被験部位とし、滅菌したステンレス製円筒内に供試菌液を塗布した。乾燥後、ザルコニン0.025%綿棒12・16と、滅菌精製水を含浸させた綿棒を用いて15秒間清拭塗布し、塗布後の生残菌数を求め、被験者6名の平均減菌率を用いて評価した。

■ ザルコニン0.025%綿棒12

■ ザルコニン0.025%綿棒16

■ 滅菌精製水含浸綿棒 (#12綿棒1本あたり滅菌精製水1.5mL含浸)

■ 滅菌精製水含浸綿棒 (#16綿棒1本あたり滅菌精製水4.6mL含浸)

* : p < 0.05 で有意差あり、** : p < 0.01 で有意差あり

● 健栄製薬株式会社 社内資料：ザルコニン0.025%綿棒の皮膚消毒効果について

組成・性状

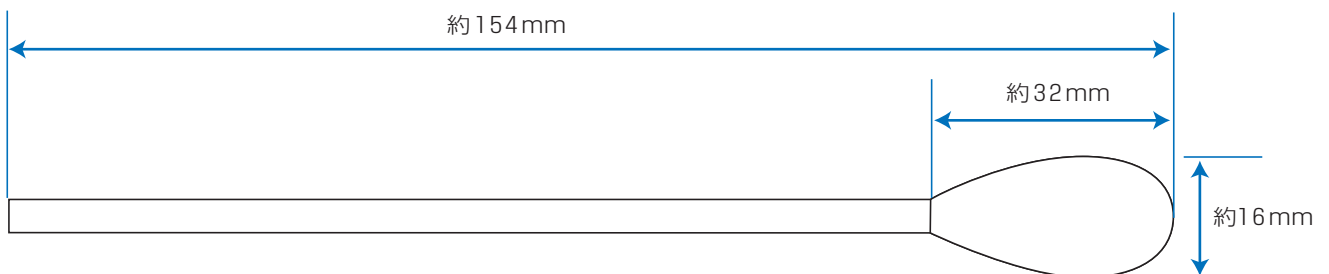
	ザルコニン0.025%綿棒12	ザルコニン0.025%綿棒16
組成	綿棒1本あたり 0.025w/v%ベンザルコニウム塩化物液1.5mL含浸	綿棒1本あたり 0.025w/v%ベンザルコニウム塩化物液4.6mL含浸
性状	脱脂綿部は白色でほぼ楕円球状の固体である。 本品の絞り液は無色～微黄色のわずかに混濁した液である。滅菌製剤である。	

綿棒の大きさ(実物大)

【ザルコニン0.025%綿棒12】



【ザルコニン0.025%綿棒16】



効能・効果、用法・用量

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	本剤をそのまま用いる。

包装

ザルコニン0.025%綿棒12 : #12綿棒×1本×56(2連×28)

ザルコニン0.025%綿棒16 : #16綿棒×1本×56(2連×28)

DRUG INFORMATION

商品名	和名	ザルコニン®0.025%綿棒 12	ザルコニン®0.025%綿棒 16
	洋名	ZALKONIN® 0.025% COTTON SWAB 12	ZALKONIN® 0.025% COTTON SWAB 16
製造販売元	健栄製薬株式会社		
日本標準商品分類番号	872616		
薬効分類	外用殺菌消毒剤		
規制区分	普通薬		
承認番号	22500AMX01835	22500AMX01836	
承認年月	2013年10月		
薬価基準収載年月	薬価基準未収載		
販売開始年月	2013年11月		
組成・性状	<p>〈組成〉</p> 綿棒 1本あたり 0.025w/v%ベンザルコニウム塩化物液 1.5mL含浸	<p>〈組成〉</p> 綿棒 1本あたり 0.025w/v%ベンザルコニウム塩化物液 4.6mL含浸	
	<p>〈性状〉</p> 脱脂綿部は白色でほぼ楕円球状の固体である。 本品の絞り液は無色～微黄色のわずかに混濁した液である。 滅菌製剤である。		
効能・効果	手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒		
用法・用量	本剤をそのまま用いる。		
使用上の注意	<p>1. 重要な基本的注意</p> 炎症又は易刺激性の部位（粘膜、陰股部等）に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも刺激症状があらわれやすいので、注意すること。		
薬効薬理	<p>2. 副作用</p> 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 過敏症： 発疹、痒痒感等の過敏症状（頻度不明）があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。		
	<p>3. 適用上の注意</p> (1) 人体 1) 投与経路： 経口投与しないこと。 2) 使用時： ア. 皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。 イ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長時間又は広範囲に使用しないこと（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）。 ウ. 密封包帯、ギプス包帯、パッドに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。 (2) その他 使用時： 1) 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落してから使用すること。 2) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落してから使用すること。		
取扱い上の注意	<p>本剤は栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、一部の真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。</p> <p>〈生物学的同等性試験〉^{2) 3)} ザルコニン0.025%綿棒12及びザルコニン0.025%綿棒16と標準製剤の殺菌効果について、<i>in vitro</i>の最小発育阻止濃度（MIC）法、最小殺菌濃度（MBC）法及び石炭酸係数法により比較した結果、両剤の生物学的同等性が確認された。</p>		
	<p>〈貯法〉 気密容器・室温保存 〈使用期限〉 容器等に表示</p> <p>〈注意〉 (1) 開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。脱脂綿部に指が触れないよう注意すること。 (2) 開封後は速やかに使用すること。</p> <p>〈安定性試験〉⁴⁾ 最終包装製品を用いた加速試験（40℃、75%RH、6ヶ月）の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。</p>		
包装	# 12 綿棒×1本×56（2連×28）	# 16 綿棒×1本×56（2連×28）	

[詳細は添付文書等をご参照ください。]

主要文献

- 1) 健栄製薬株式会社 社内資料：ザルコニン0.025%綿棒の皮膚消毒効果について
- 2) 健栄製薬株式会社 社内資料：ザルコニン0.025%綿棒12の生物学的同等性について
- 3) 健栄製薬株式会社 社内資料：ザルコニン0.025%綿棒16の生物学的同等性について
- 4) 健栄製薬株式会社 社内資料：ザルコニン0.025%綿棒の経時安定性について

文献請求先

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号 電話番号 06(6231)5626 FAX番号 06(6204)0750